

TFT-2450簡易マニュアル

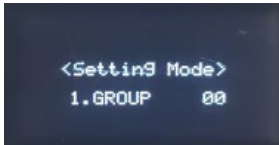
技術本部 商品技術部
2025年2月

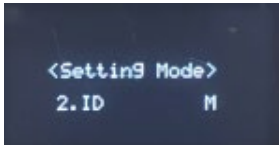


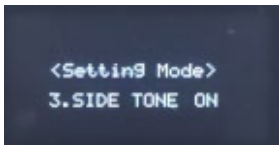


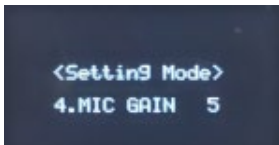
MODE説明

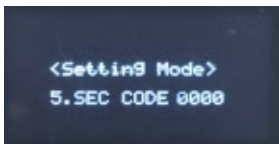
- MODEボタンを約 1 秒押すと設定メニューに入り、短いワンプッシュでメニュー項目を移動します。
項目の設定値はUP/DOWNボタンで調整し、設定が終わったらMODEボタンを約 1 秒押すと設定から抜けます。

- 

グループ：00～39まで端末機をまとめるグループ番号を設定します。
- 

アイディ：グループの中で運用する端末機のID番号を設定します。
－ M：Master / 01～99：端末固定ID / L：受信専用端末
- 

サイドトーン：ヘッドセットやイヤフォンマイクから自分の声が聞こえます。
- 

マイクゲイン：マイクのボリュームを調整します。
－ 0 ～ 8
- 

セキュリティコード：運用中のグループを保護するためのセキュリティー設定。
－ 0 ～ 9, A ～ Fいずれかの4桁

※キーロック機能はメニューにはなく、ModeボタンとTALKボタンを一緒に約2秒押すとキーロックになり、もう一度、ModeボタンとTALKボタンを一緒に約2秒押すと解除になります。

- グループ運用には必ず「ID:M」のMasterが必要です。（通信サーバーの役割）
- 機器運用には次のパターンがあります。

1) Master + 固定ID（双方向通話）

- － Masterを含めて6人の同時通話が可能で、7人目の端末機が参加すると最初Masterと接続した端末機の「TALK」がOFFになり、受信に変わります。



2) Master + 固定ID（双方向通話） + L（受信のみ）

- － 6人同時通話以外に「ID:L」受信のみ端末機が30台参加できます。



3) Master + L（受信のみ）

- － 1人Masterと受信のみでの構成になります。



●バッテリー交換

1) 背面の左下にコインが入るくらいの凹みがあるので、コインを入れて蓋を開けます。



2) バッテリーを持ち上げ本体から外します。
3) 交換用バッテリーの装着は逆順になります。

●落下防止用ストラップの付け方

1) バッテリー交換と同じ方法で蓋を開けます。
2) 本体の背面右上にあるストラップホールに紐をかけます。
3) 蓋を閉めます。



●受信音が聞こえない場合

- 1) 端末同士が同一グループになっているかを確認してください。
- 2) 同一グループでSecurity Codeが一致するかを確認してください。
- 3) 使用中のグループ端末の中に「MASTER端末(ID:M)」があるかを確認してください。

●通話中TALKが切れる場合

- 1) 同一グループで6人同時通話中、他の1人が通話に参加した場合
 - ①最初Masterと接続した端末機のTALKが切れるので、再度TALKボタンを押して通話に参加する。
 - ②再度通話に参加するとまた、別の端末機TALKが切れるので、最後に参加した人のTALKを切るように案内する。
 - ③TALKが切れた別の端末機のTALKボタンを再度押して通話に参加するように案内する。
※TALKが切れて通話ができなくなっても受信は可能。
- 2) 同一グループで6人同時通話中、TALKが切れた場合
 - ①周りにノイズを発生する機器がある場合はノイズ源から離れ、再度TALKボタンを押して通話に参加する。
 - ②電波受信距離を超えたか確認して電波受信圏内に戻り、再度TALKボタンを押して通話に参加する。

●通話距離120m関連

- 1) 通話距離120mは車の通行が少ない幅10mくらいの直線道路環境での距離ですので、必ず保証する距離ではなく、壁など障害物がある環境など状況によっては通話距離が短くなります。逆に周りにノイズ源がない良い環境では120mを超える場合もありますので、一応現場での通話距離測定を推奨します。

●対応するイヤホンマイク

TDP-ES-03ELA, TDP-CM1, TDP-CM2(F), TDP-HSK-01A, TDP-NS1(F), TGR-EP-02A